



おのぼりさん靖国神社  
参拝、富士山拝見記

野原整形外科  
野原 昌亮

真栄城徳秀先生からリレー随筆の依頼を受けた時、最初に頭に浮かんだ題材は、ワンコ、パソコンML（メーリングリスト）、それと共通の趣味である野球でした。ワンコ、MLはよくある話なのでやめました。残りの野球は自叙伝を書き出したらだんだん愚痴がてんこ盛りになって収集がつかなくなり、膨大な量になったので今回のリレー随筆の題材にするのはやめました。そこで、去年八月に行った靖国神社の事と、その帰りに機上から生まれてはじめて見たと思われる富士山の事を書きます。

靖国神社になぜ行く気になったかという、小生が子供の頃からプチ軍事オタクだからです。軍事関係が好きになったのは、男の子である事と自衛隊現役歯科医官である従兄から小学生四年生の頃に、兵隊ごっこ？を教練してもらったからです。それと同じ頃に学校図書館から借りて読んだ「ゼロ戦開発物語」もおおいに影響を受けました。この本を読んだおかげで、その後も軍事関係を初めとして、製品開発物語を好んで読むようになりました。

一番の要因としては、八月六日東京で巻き爪矯正ワイヤー講習会があったからなんですね。この講習会会場ははじめていくところですので、まず上京する前に会場をGoogleマップで検索してみました。すると会場の近所に靖国神社を発見。「ここでいかないと次の機会があるかどうかわからん。」と、決心した次第です。

記憶が定かではありませんが、今回の靖国神社行きは二回目だと思います。一回目は1970年代の高校生時に、次女淳子姉さんの東京のアパートに泊めてもらった際に連れて行ってもら

いました。でっかい鳥居だけ覚えてますが、神社内で飛行機などを見た覚えが無いので、おそらく零戦などはまだなかったのでしょうか。もし見たのなら飛行機好きの小生が見たのを忘れてはありますがありません。ちなみに零戦を始めてみたのは太宰府天満宮の裏の博物館で特別展示されたときだと思います。それか、熊本の伊勢丹デパートの屋上で見たのが最初か。。最近物忘れが多くていけませんね。

さて、今回のおのぼりさん旅行記を始めます。上京の前日8/4（金）にネットで検索して、水道橋の宿から靖国まで距離を測り、歩いていけそうなので早起きして靖国探索に行く事にしました。この検索時には、靖国神社の境内の内容は把握しませんでした。今回の参拝は何も知らなくて境内探索したおかげで、後で奇遇に気がついて驚いた事もあります。ですから旅としては、事前に把握しておかなくて良かった気がします。

8/5（土）診療終わって日本航空1930便19：55発で上京しました。一、二泊の時はいつも那覇空港の駐車場に止めていくことにしています。なぜ、自分の車にするかという、煙草臭いタクシーに乗ると二三日気分が憂鬱になりますし、服に匂いが付くと翌日そのにおいをかいで吐きそうになります。この煙草嫌いのおかげで、3～4年間でタクシーには二回しか乗ったことがありません。タバコのおいを避けてバスに乗った事が一回あります。もちろん、飲酒運転もしたこともありませんし、運転代行を一度も利用した事はありません。

話が回り道になりました。今回の上京では、空港駐車場に向かう途中のフリーゾーン前で途中下車し、道を渡って花壇の所に行って花壇の囲いにも使われているトラバーチンのかけらのような石を一個選びました。この石は沖縄らしいし、国会議事堂の石にも使われているといわれる自分の故郷の勝連の石かも知れないからです。

それから飛行機に搭乗しました。行きの便は混んでましたが順調でした。次前にネットで

調べた通りに、JR中央線の最終電車に乗って宿のある水道橋に向かっていたら、その前の駅御茶ノ水で終点となり下車しました。予定では水道橋に一気に到着できる予定でした。沖縄生まれで九州住まいの長かった小生は、都会の電車乗換えなど予定が変更になると大弱りです。周りは花火大会があったのか、ゆかたを着た外国人、妙に顔の真っ黒いおねえちゃん、兄ちゃんていっぱい。なんか気味悪い連中なのでどうしたらいいか尋ねる事ができませんでした。耳をダンボにしていたら総務線に乗り換えればいい事がわかりまして、一駅間だけ乗車していつものおのぼり時のように零時過ぎにホテルに着きました。小生は、本土の研修会を受ける時、定時の時間で仕事が終わってから上京しますので宿到着はいつも午前一時過ぎになります。ほんと、本土行きは難儀ですね。

話は戻って、宿に到着後まずホテルのロビーにある近所案内の地図で靖国神社の位置を確認しました。以前、知らない街で近道をするつもりで小道に入って行った結果、迷った事があるので、大きな道沿いに向かうことにして、大体の距離を把握してから就寝しようとベットへ向かいました。

ところが、ホテル近所のココ一番館の「チキンから揚げカレー」を食べたあと腹痛あり。沖縄のココ一番館の「チキンから揚げカレー」を食べてもなんともならないのに、東京のココ一番館の「チキンから揚げカレー」でお腹が痛くなるのはこれで二回目。。二回食べて二回腹痛です。以前は吉野家の牛丼が遅くまで開いていたので、深夜でも牛丼を食べることができ便利だったのですが、吉野家の牛丼がなくなってからは夜間はホテルなどの宿の食堂も閉まっていますので、行き当たりばったりで食事をしてから宿に入ってます。強靱なはずの小生の腹が痛くなるのは不思議でしょうがありません。

話は戻って、いつものように発泡酒アクアブルーを手にして、「これは重曹だから腹痛の治療になるぞ〜〜。」と、あほなことを言い聞かせながら数本飲んで寝ました。

翌日、五時頃起床、腹痛無し、快腸。「東京は日の出が早く目が覚めてしまった。」と、ぶつぶつ文句を言い、また寝ようとも思ったんですが、せっかくの上京ですし、寝るのももったいないので早速靖国神社に向かうことにしました。途中で沖縄で拾った石を持ってくるのを忘れたのに気づき、もどろうかとも思ったんですが、結構歩いていたので、宿に石を取りに帰るのをあきらめました。大きい道でも少し迷いながら、どうにか順調に靖国神社に向かっていると、坂の途中に東京理科大学を見つけました。この大学は親父博が東京医科大学に入る前に、基礎？かなにかを終了したところでした。事前の検索で気づいてなかったのうれしく思いました。

(ここから書く、境内のモニュメントの固有名詞は後日知ったものです。)

東京理科大をすぎてすぐ、靖国神社大鳥居の前に六時前に到着しました。鳥居真正面から本殿方向を見ると、真下で本殿に向けてカメラをセットしている人以外は車も人もいませんでした。小泉首相の参拝問題でマスコミがにぎやかなころだったので、人気のないのが拍子抜けでした。

参道を歩いていくと、右のほうに「母親の水？」と書いてある碑を見かけそのまま通り過ぎ、休憩所まで行くと「小泉何とかまんじゅう」のポスターを多数見つけ苦笑しました。左側の空き地にはなにか露天を広げている人たちがぼちぼち出てきました。舗装道路を渡って、第二鳥居に到着。すると、神門のほうから、腰が地面と平行に曲がった亀背の強い80歳ぐらいのおばあちゃんが近づいてきました。(ひどい骨粗鬆症だなあ〜〜) と思い挨拶もせずすれ違おうとすると、いきなり「誰かが門の前に置いていった。」と、ニコニコ笑いかけながら五円玉を手渡しされました。「はっ」となんの事かわからず突っ立っていると、その後から来た恰幅のいい叔父さんが「門が閉まっていたから置いていったんだろう。ついでにお賽銭箱に入れ

ときなさい。」と、これまた満面の笑い顔で指示されました。そこで、一気に暖かい気分になりました。後で調べてみると、靖国神社は六時開門らしいですね。ですから、夜間来た人は門前にお賽銭をおいて帰るらしいんです。それを遠くからきたと思われる若造（小生の事）をつかまえて、さも近所の知り合いに頼むようにおばあさんが声掛けしたんですね。

「いっやあ、靖国気に入った。」

それから拝殿に行き、自分の分の賽銭も加え箱に入れた後に何も考えずに思わず二回拍手。拝礼終わって拝殿の左側を見ると、「二礼二拍手一札」の札を見つけ焦りました。たまたま拍手の回数はあたってましたが、礼は何回したか覚えてません。そういえば、小泉さんが参拝した時に何回拍手やったか話題になっていた事をふと思い出し、頭を掻きながら、朝顔かなんかをいっぱい並べてある能楽堂の前を通過して遊就館へ向かいました。

遊就館は残念ながら、まだ開館しておらず、館内を見学出来ませんので、見れるだけ見ようと覗きますと、カーテンの隙間から零戦を見つけ、前から横から見ようとガラス越しに建物の周りを移動しました。そうこうすると「特攻勇士之像」の前に立っていました。その顔を見ると左目から涙を流しているように見えるんですね。誰も顔を洗ってくれんのかと嘆きつつ、靖国会館の玄関口へたどり着きました。会館の左側に海防艦慰霊碑があり金属製模型が置いてありました。なんで海防艦だけが特別扱いなんだろうと思案するもわからず、今度は、鳩、馬、ワンコの碑に気づきました。これはすぐ軍用に使われた動物たちとわかりました。これらは日本から戦地まで行ってほとんど帰ってこれなかったようです。

その後、またあこがれの零戦をカーテンの隙間越しにみて、ひとまずホテル方向に向かいました。この最初の散策中、いたく感動してしまったので、「ホテルに忘れた沖縄の石はやはり今日中におさめにゃあかん。」と思い、急ぎ足で宿への帰路を歩きました。途中、なぜか「母

親の水？」の前でまた立ち止まり、この裏に石を埋めてやろうと考えました。

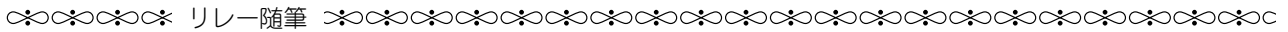
ホテルに帰ってから、和食の朝ごはんをいただきました。ちまちまと少なく盛られた小皿がたくさんお盆に載っかっていまして、日本人ってなんて細やかなんだろうとまた意味もなく感心、完食。

それから、第二回目の参拝。今度は、車のついたバックを引っ張りつつ、時間が気になりましたので近道を行いました。途中迷いながら九段高校のほうからたどり着きました。大鳥居の前は観光バスでいっぱい。参拝者もいっぱいでした。今回は、石を取めるのが目的なのですぐ「母親の水？」へ行きました。後で調べてわかったんですが、そこは「慰霊の泉」というところでした。

裏に回ってビックリしました。そこには沖縄、グアム、パラオ、ペリリューなどの激戦地の石が二列になって埋め込まれていたんですね。手前の左から三つ目の石がまるまる削られているのが気になりました。最初、自分が沖縄から持ってきた石をその削られたところに置こうと思ったんですが、とられてしまいそうだったので、3~4メートル離れた土手に穴を掘って埋めました。

その後、横着にも「慰霊の泉」の池に手を洗いにいき、洗っていたところ水面上に仰向けにおぼれているカナブンを発見、どうにか救出し植込に避難させました。「偶然ながら生き物を助け、よい事をした。」と喜びながら、泉の裏に戻ってベンチで休んでました。

そこで、不思議な事が起きました。遠くからぴょんぴょんスズメが近寄ってきて、小生の足を飛び跳ねるんです。足元の20センチくらいのところを通過してベンチ下にいなくなったかと思うと、また出てきて、ぴょんぴょん。手をかざしても逃げないし、30秒くらい小生の足元をまわりつくように歩いて、左側にぴょんぴょん飛び跳ねながら去ってゆきました。鳩がよって来る経験はあるのですが、スズメが寄ってきたのは生まれてはじめてでした。「遠いと



リレー随筆

ころから石を持ってきてくれてありがとさん。」と、スズメからほめられたような気になったので、またまた、あったかい気分になりました。それから、講習会場に向かいました。結局、講習会前に結局二時間半歩いた事になります。

話代わって、今回生まれて初めて富士山を見ました。中高校、予備校、大学と九州でしたし、医師になってからはいつも本土から帰るときは夜間なので一度も見た記憶がありません。今回も帰りの予約便は、日本航空1935便 19：30発予定でしたので暗くなるのが予想され富士山を見るのをあきらめていました。

靖国神社から講習会場へ向かうと、途中「富士見」というところに出ました。ところが、周りはビルだらけで富士山なんて見えません。「高いビルに登ると見えるかしらん。」とも考えたのですが、講習会の開始時間は迫っていますし、どのビルが一番高いかもわからないので、そのままあきらめ講習会場へ向かいました。講習内容は、講演者の本とHPをよく読めば充分の内容でした。不満たらたらで、帰路に着くことになりました。靖国の遊就館はとっくに開いて見学できる時間ですが、もしかしたら早い便だと富士山拝めるかと思ひ遊就館見学はあきらめ、急いで空港へ向かいました。途中、日本航空出張所や旅行社で便を早いのに切り替えようと探していたんですが見つからず、こりゃ空港のカウンターに早くたどり着かないと便の変更が出来そうにないと焦っていました。すると浜松駅モノレールの切符売り場のところで場違いなJALの服（グランドホステス？）がいて、便の変更の件を話すと、モニターをチョコチョコ触って変更してくれました。1931便 16：35発に変更になりました。便利な世の中になったものです。混んでるはずの帰りの飛行機に乗ると、機内はがらがら。安売りチケット屋は、今回の予約の際「急いで予約しないと切符が取れない。」とぬかしていたのに空席が多く、ユクシじゃないか。と少し憤慨しながら座席へ向かいました。席に座るなり、早速アテンダントに、「富士山見れますかね～～？」と、田舎

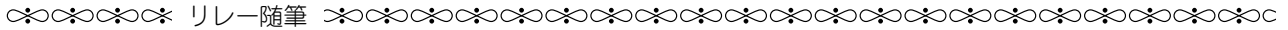
者丸出しで恥ずかしく思いながら聞くと「無理でしょう」との返事。(^◇^;)

離陸後、今回も富士山見れないのか。と、あきらめかけていると。。機内アナウンスが始まり「機長のフジタ〇〇です。」これは、フジがつく名前だから縁起がいいぞと思ひ、本当に富士山が見えたら最高なのに。とまた考えました。そこでまたアテンダントに、「見えるとしたら右ですか、左ですか？」と、聞くとにこやかな顔で「左です。」と答えました。

沖縄に行くなら、木更津上空で右旋回するはずだ。それなら右に見えるはず。と考えました。ですから、最初の左側座席からアテンダントのアドバイスも聞かず空いている中央の座席群を通り抜け右側の座席に陣取りました。しばらくすると、窓下で台形の頭が雲の上に出てきました。その雲だけが黒くなっているのか、雲の影なのかとも考えたのですが、徐々に右前から後方へ頭が流れて行き、最後は沖縄に向かうために少し左旋回した時に後方へ行ってしまい見えなくなりました。スッチーは天候が悪いから雲中に隠れて見えないと思ったのでしょうか。あの特徴のある台形の頭はまず間違いなく富士山です。歌にあるように雲の上に出していたんですね。全景は、次の楽しみにとっときます。雪をかぶっていたら最高でしょうね。

帰ってきてから医療系MLに、不思議なスズメのことをカキコすると結構受けが良かったですね。。この随筆もその時カキコしたMLのメールを参考にして書きました。落ちも何も無いんですが、嵌入爪の研修会受講よりも靖国参拝できて、零戦久しぶりに拝めて、生まれてはじめて富士山見れて十分おつりが来る上京でした。良かった。良かった。

最後に、日常生活と同じようにアマハイクマハイする文を読んでいただきありがとうございました。それと、リレー執筆者先生との関連をカキコします。真栄城徳秀先生とは高校は別ですが大学受験予備校で一緒になって以来仲良くしてもらっております。執筆依頼を受けうれし



く思いました。次回執筆者の平良章先生は、那覇市立病院で同僚になった時に初めて知り合いました。最近、親戚のお祝い事で久しぶりに会い消息を確認しあったところでした。突然の小生からのリレー依頼を二つ返事で受けてもらい感謝しております。今後ともよろしくお願ひします。

★リレー状況

—平成16年以前掲載省略—

- 29. 仲間 司先生 (県立那覇病院) Vol. 41 No.5
- 30. 新里 讓先生 (沖縄赤十字病院) Vol. 41 No.11
- 31. 友利正行先生 (ともし内科循環器科)  
Vol. 42 No.2
- 32. 具志一男先生 (ぐしこどもクリニック)  
Vol. 42 No.4
- 33. 神谷鏡子先生 (かみや母と子のクリニック)  
Vol. 42 No.6
- 34. 呉屋良信先生 (わんぱくクリニック)  
Vol. 42 No.9
- 35. 江洲浩明先生 (はえばる耳鼻咽喉科)  
Vol. 42 No.11
- 36. 真栄城徳秀先生 (真栄城耳鼻咽喉科)  
Vol. 43 No.2

お知らせ

第38回全国学校保健・学校医大会分科会における研究発表の演題募集について

- 1. 日 時：平成19年11月10日 (土) 午前10時～
- 2. 会 場：全日空ホテルクレメント高松3F (各分科会会場)  
(高松市浜ノ町1-1 TEL087-811-1111)
- 3. 演 題 募 集：詳細につきましては、沖縄県医師会事務局まで、ご連絡下さい。
- 4. 提 出 期 限：平成19年4月27日 (金) 必着

連絡先 沖縄県医師会事務局  
TEL 098-877-0666  
担当者 業務課 渡嘉敷園子 平良亮